

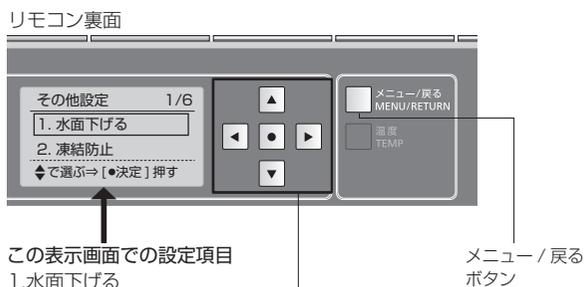
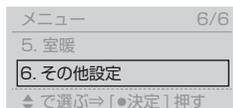
設定を変える

その他設定

1 メニュー/戻る MENU/RETURN
押す



2 で
 「その他設定」
を選ぶ



この表示画面での設定項目

1. 水面下げる
2. 凍結防止
3. 電子音
4. 水勢洗浄位置記憶
5. 便器洗浄水量 6Lモード
6. 便器洗浄水量 8Lモード

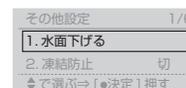
- で項目の枠を動かし、
- で設定を選び、
- で決定する

メニュー/戻る
ボタン

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便の
ときなど)

水面下げる

3 で
「水面下げる」
を選ぶ



押す
便器内の水が
流れて低い
水位でたまる

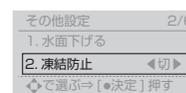
お知らせ

- 検便時に使用するとき
は「オート便器洗浄」を「切」
にしてください。(P.40)
- 便器洗浄すると、通常の水
面の高さに戻ります。
水面を下げて使いたい場合
に、都度設定してください。

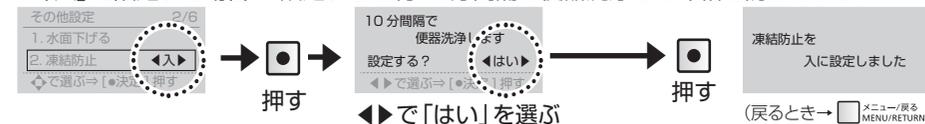
便器とウォシュレットの
水を一定の間隔で自動で流す

凍結防止

3 で
「凍結防止」を選ぶ
4 で
「入/切」を選ぶ



<「入」に設定する場合> 設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。



電子音を
鳴らす/鳴らさない

電子音

3 で
「電子音」
を選ぶ
4 で
「入/切」を選ぶ



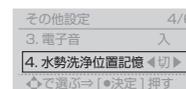
押す

電子音を
切に設定しました
(戻るとき → MENU/RETURN)

お好みの
水勢・洗浄位置のままに
する/しない

水勢洗浄位置 記憶

3 で
「水勢洗浄位置
記憶」を選ぶ
4 で
「入/切」を選ぶ



押す

水勢洗浄位置記憶を
入に設定しました
(戻るとき → MENU/RETURN)

必要なとき

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.40)「オートふた開閉」(P.42)を「切」にしてください。

流動方式

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.50)

- ・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

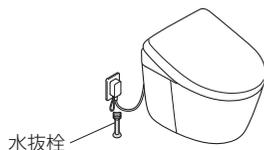


ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルを出す

リモコン裏面のボタンで操作します。

1. メニュー/戻る MENU/RETURN 押す
2. で「お手入れ」を選び 押す
3. で「ノズルそうじ開始/停止」を選び 押し、ノズルを伸出させた後、もう一度 押してノズルを戻す (給水管の圧抜き)

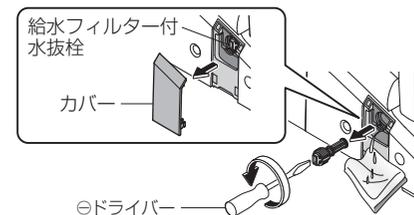
3 電源プラグを抜く

ヒーター付便器・水抜併用方式(つづき)

4 配管の水を抜く

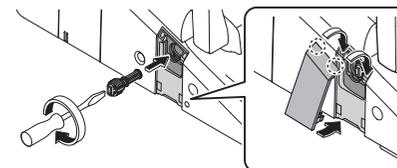
①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける

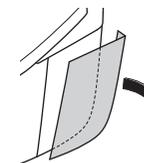
- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



5 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

6 すっきりパネル(右)を取りはずす



7 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

8 便座温度を「高」にする (P.22)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.62)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

こんなときは

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)
(凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意

・「お掃除リフト」(P.32)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式のとき
止水栓または元栓を閉める(P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める
(P.60手順①)
お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください。
- 2  を押して
タンクの水を抜く※1
- 3 ノズルを出す
(P.60 手順②)
- 4 電源プラグを抜く
- 5 配管の水を抜く
(P.61 手順④)
- 6 水抜きレバーを引き出す
・ノズル付近から
水が出る
(約20秒)
- 7 手を離し、水抜きレバーを
元に戻す
- 8 ■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ
便器内のタンクの水を抜く
・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内
水抜き作業手順」参照

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして
凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄
処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける、または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する
- 3 ①ノズルから水を出す
(1)便座の左側を押したまま、
(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3)リモコンの「止」ボタンを押す

②  を押す※1
水でぬらしたやわらかい布
(傷つきを防ぐため)
・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります(最大約80秒)。
※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。
■残水が凍結して水がでないとき
・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める
- 4 便器に水がたまってから、もう一度  を押す※1

故障かな?と思ったら

まず、P.63~70の処置方法をお試しください。

それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTO メンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

次の場合は電源プラグを抜いて、TOTO メンテナンス(株)修理受付センターへ連絡してください。

●運転、便座、
節電ランプが
点滅している



●電子音が
止まらない



●便座ランプが
点滅している

まず、ご確認ください

運転ランプが
点灯していますか?

■電源プラグの切表示ランプが
点灯していませんか?

→「入」ボタンを押す
(ランプ消灯)



■「運転」ランプが点滅していませんか?

→「凍結防止」設定が「入」になっています。(P.50、60)

■配電盤のブレーカーが入っていますか?

→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する



節電ランプが点灯
していませんか?

■点灯中は節電中(P.26)のため、便座の温度を下げたり
便座ヒーターを切ったりしています。

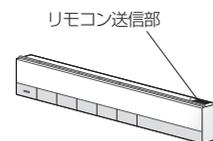
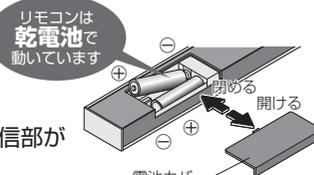
リモコンで
動きますか?

■リモコン上の
電池切れ予告ランプが
点滅していませんか?

→乾電池を交換する(P.12、58)

■リモコン送信部やリモコン受信部が
ふさがれていませんか?

→障害物やゴミ・水滴などを取り除く



必要なとき